

千葉西ロータリークラブ
創立50周年記念例会

クラブ方針：「繋ぐ」～みんなでやろう～

月日：2026年3月14日(土)
会場：京成ホテルミラマーレ

国際ロータリー第2790地区 第3グループ
千葉西ロータリークラブ
Rotary Club of Chiba-West
WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
会長 前野拓郎 幹事 桜井隆宏
例会場 京成ホテル ミラマーレ
TEL 043-222-2111
例会日 毎週火曜日 12:30～
事務局 千葉市中央区都町1-2-3
TEL 090-3484-2790
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
URL : https://www.chibawest-rc.net/

■ 会長挨拶 / 前野拓郎 会長

皆さんこんにちは。朝晩の冷え込みが日に日に増し、紅葉が色鮮やかに街を彩る季節となりました。木々が真っ赤や黄金色に染まる光景を眺めると、日本の四季の美しさを改めて実感します。紅葉狩りを計画されている方も多いかと思いますが、温かい服装で秋の風情を存分に楽しんでいただきたいと思います。

さて、明日は 2790 地区野球リーグ納会が幕張のホテル ザ・マンハッタンで開催されます。先日行われました試合にご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。秋晴れの下、白球を追いかける熱気に包まれ、選手たちの躍動感あふれるプレーは観る者に元気を与えてくれました。私は試合を通じて「スポーツには人と人を繋ぐ力がある」と改めて感じました。年齢や職業を超えて、同じ目標に向かって団結する姿は、まさにロータリーの精神に通じるものです。

私は1～2試合しか参加は出来ませんでしたが試合前の緊張感と試合後の爽やかな笑顔のコントラストが印象的でした。勝敗を超えた友情が育まれた瞬間を目の当たりにし、こうした交流の場がクラブ活動の醍醐味であると改めて実感しました。このような活動は、地域との繋がりを深め、会員同士の親睦を育む大切な機会です。今後も当年度が掲げる「繋ぐ」というテーマのもと、スポーツを通じた交流を続けていければと思います。最後になりますが、11月は寒暖差が激しい季節です。どうか体調に気をつけてお過ごしください。ありがとうございました。



■ 四つのテスト / 依田和孝 会員

「言行はこれに照らしてから」
真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなの為になるかどうか



■ お客様

- 藤代謙二 様
(公益信託千葉西 RC 青少年育英運営委員会 信託管理人)
- 森 淳 様 (同 運営委員)
- 仙波慶子 様 (同 運営委員)
- 時田清次 様 (国際ロータリー第 2790 地区ガバナーエレクト)



■ ご挨拶 時田清次 RID2790 ガバナーエレクト

ガバナーエレクトの時田です。今年の 4 月 4 日にメーキャップした際、花嶋会長より千葉西 RC は 2025 年度に創立 50 周年があり今野会長・北村幹事、実行委員長は藤崎さんだと伺いました。この度は地区の危機管理委員長を藤崎さんをお願いしたく来会した次第です。危機管理運営委員会は青少年の全般に対する問題に対応するプラットフォームがあり、複数年度担当頂きたくお願いにあがりました。ご挨拶に代えさせていただきます。

■ 幹事報告

持ち回り理事会報告

2025-26 年度の地区委員について理事全員に承認いただきましたことご報告申し上げます。

- 藤崎泰裕 会員 RID2790 危機管理運営委員会委員長



■ 委員会報告

・公益信託千葉西ロータリークラブ青少年育英運営委員会

例会前に運営委員会を開催いたしました。令和7年度事業計画と収支予想の承認、令和7年度奨学生募集要項が承認されました。次年度は市立千葉高校、土気高校が対象となります。令和6年度の決算見込み、令和7年度スケジュールの報告がございました。

また運営委員の任期が来年終了となりますが、皆様引き続きお務めいただけるとのことでホッとしています。

・社会奉仕委員会

11月16日(土) JR 稲毛駅前ふれあい花壇にて花の植替えを行いました。当日は会長幹事ほか総勢10名のご参加をいただきました。植替えは人の手だけでは難しく、佐藤会員よりより主要な資材をお借りしてスムーズな作業を終えました。次回植替えは来年5月第3週辺りの土曜日を予定しております。宜しくお願いいたします。

■ 米山記念奨学・学友委員会担当「ロータリー米山記念 奨学事業について」 海寶勲一 委員

米山記念奨学金制度の発端は、1920年大正9年に日本のロータリー活動を創始され東京ロータリークラブ初代会長を務め、第70地区初代ガバナーとして活躍され、日本にロータリー運動を広めてくれた米山梅吉翁の偉業を記念して肅々と発足しました。東京ロータリークラブでは、米山梅吉翁が逝去された1946年から熟考を積み重ねて、1952年当時の東京クラブ古澤文作会長が企画発案し、アジアからの留学生に対して奨学金制度が開始されました。米山梅吉翁は常々「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際事業ではないだろうか？」と考え、三井銀行や三井信託銀行の大重鎮職であった恵まれた資金源のポケットマネーで留学生に私費で援助をしていました。東京ロータリークラブでは米山梅吉翁が生前残した数々の功績を讃えて、善行の意志を継ぎ、アジアからの留学生に対してクラブ奨学金基金の支援を始めました。現在では、財団法人ロータリー米山記念奨学会が寄付金を集めて管理運営をしていますが、基金の原資は多地区合同奉仕事業として、全国のロータリアンや家族、及び学友と一般の方々が援助元に広がり、現在の立派な奨学金育英事業を構築させています。奨学金の月額ですが、学士課程が10万円、修士と博士課程が14万円、必ずクラブ例会に於いて手渡しは原則になっていましたが、昨今では銀行振り込みも認可されました。奨学生の募集方法は地区米山記念奨学委員会が認定した地区内指定校生徒に限り、応募者の選考試験を厳しく行われます。合格した生徒は必ず米山記念奨学事業について指導と面談を済ませてから地区内の世話クラブに配属され、クラブ内のカウンセラーから親身になった心の通いあう手厚いアドバイスやサポートが始まります。ロータリークラブ例会に参加することや、奉仕活動に参加することで、人間性の成長や様々な奉仕活動の基本や社会地域貢献の大切さを学ぶことができます。常に親身になって世話クラブとカウンセラーが手を組んで奨学生のサポートを行い、出身国との国際関係の橋渡しを励み、相互に学び合い思い遣ることから、将来の民間大使の夢が育まれます。大学側として学部の指導教員も一緒に活動できることは心強いことです。奨学金の受け取り期間は基本的に1年間ですが、クラブの応援を得れば2年を限度に延長も可能です。基金となる寄付行為ですが、各クラブ単位で奨学金寄附受付を行います。基本的にはクラブ単位で拠出する「普通寄附」と、会員が自主的に拠出をする「特別寄附」によって善意の奨学金原資となります。ロータリー米山記念奨学会と地区委員会及びクラブ会員が心をつなげた奨学金事業は、奨学生が卒業した後も、学友会員として活動でき、世界で活躍した善意の寄附を米山奨学金基金にお礼奉公している学友の数が増え、併せてロータリアンとしての仲間ができていくことは嬉しく頼もしい限りです。尚、特別寄附の功績額によって功労者の表彰制度もあり、励みになっています。米山梅吉翁の生前の功績を記念した奨学金事業が、クラブや地区を超えて世界中の若者の支援に対して、心をこめて行う奉仕活動に発展できたことは、米山梅吉翁や東京ロータリークラブに感謝する必要があります。人と人を互いに支え合って生きてこそその社会地域貢献です。米山梅吉翁は、「ロータリーは人生道場である」との金言を残されていますが、ロータリークラブ例会から萌芽した米山記念奨学事業は、ロータリアン同士が心を合わせて構築させた素晴らしい国際奉仕事業に結び付けてくれました。その米山梅吉翁の活躍を讃えて記念して建築された、「米山梅吉記念館」が幼少期を過ごした静岡県駿東郡長泉に開館されていますので、米山奨学生は勿論ですが、我々ロータリアンも修学の場、心のよりどころとして訪問したいものです。「人の振り見て我が身をただす」人様の背中から学ぶ姿勢が徳として自分人生を豊かなものにしてくれるロータリー活動は、もっともっと幅広く活用させて、米山梅吉翁の生き様をお手本として、人生道場として自己成長を図っていききたいものです。今後も思い遣りの精神を大切にして、ロータリー米山記念奨学事業に対して、一層の理解と支援を深めていければと思います。各国からの奨学生を通して世界平和と国際理解推進をさせて、引き続き毎月の特別寄附を継承して、米山奨学生育成の為に小さな善意を積み重ねていきましょう。ただ懸念される社会情勢もあり、年々多様化される世界観や社会情勢から奨学生や学友に対するハラスメントや事故の被災も現実化されています。これも新たな気遣いの必然を感じ、安心安全の奨学生活動を担保する必要性ができました。卒業後も学友としてロータリー活動に参加できますので、奨学生と学友共々身の安心安全を護る重要な役目を、地区危機管理委員会の指導を受け、安心安全な支援にしたいものです。青少年育成



の奨学事業を改めて思い返せば、我が千葉西ロータリークラブの先達が構築してくれた、千葉市内高校生を対象にした、「公益信託・千葉西ロータリークラブ青少年育英基金」の奨学金事業は、規模は圧倒的に小さいものですが胸をはって誇れる、40年間継続されてきた輝かしい育英事業です。我が千葉西クラブの創立50年記念を機にして、これからの時代を継承する青少年育成事業を支える奉仕活動として、改めてクラブ全体が理解を深めあい、米山記念奨学基金と共に地道な支援を肅々と継承し育成して参りましょう！！

10月特別 **米山月間**

「ロータリー米山記念奨学事業について」

千葉西ロータリークラブ例会卓話

米山記念奨学委員会 2024年11月26日(火)

委員長 野口アキ子
副委員長 海寶勘一
兼任委員 川島治代
兼任委員 遠藤あけみ



米山記念奨学シンボルマーク



公益財団法人 **ロータリー米山記念奨学会**

勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、

日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、

民間の奨学財団です。

奨学事業目的

将来、奨学生の母国と日本との懸け橋となって

国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学すること。

奨学金による経済的な

支援だけでなく、

ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による

心の通った支援



が特徴です。

米山奨学生は、ロータリークラブを通し日本の文化、習慣などに触れ、

社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする

国際平和の創造と維持に

貢献する人となることが期待されます。

Rotary 2790地区



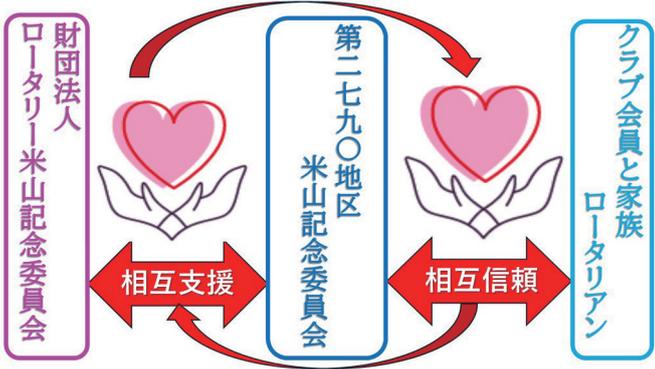
地区米山記念奨学委員会

米山記念奨学事業の広報と推進

1-指定校制度(大学選定)

1-応募者面談(個人面接)

1-世話クラブ選考依頼+カウンセラー面談



世話クラブとカウンセラーの役目

- ・毎月初例会にて、奨学金の贈呈（銀行振り込み可）
- ・クラブ活動に参加、ロータリーを理解してもらう
- ・会員との交流を深める
- ・地区委員会と情報交流を密にして、奨学生のために様々なアドバイスやサポート

米山記念奨学会と地区委員会

卒業生の交流会

学友会

ハイライトよねやま

1 5年ぶりの韓国親善会議で韓国学友会がアピール

2 2025年度奨学金申し込み状況

ロータリー米山記念奨学会の誕生と歴史

米山梅吉 (旧姓 和田)

日本のロータリークラブの生みの親
東京RC初代会長・初代地区ガバナー

- ・1868年4月8日和田竹造の三男として江戸の芝で誕生。母うたは三島大社の息女
- ・成人になり8年間のアメリカ留学後、静岡県駿東郡長泉町の米山家に養子縁組
- ・1897年に三井銀行入社、1909年に常務取締役就任 私的な幅広い奉仕活動実践
- ・1920年日本で初の東京ロータリークラブ創設し、初代会長に就任
- ・1924年に三井信託銀行を創設し、初代社長に就任
- ・1946年4月28日死去、享年78歳

ダラスRCの福島喜三次と出会い初めてロータリークラブを知る

東京ロータリークラブ

米山梅吉

福島喜三次

古澤文作

大連宣言を公開する

日本人初のロータリアン

古澤文作 (東京ロータリークラブ)

・1952年度クラブ会長発表

1946年に米山梅吉初代会長が逝去

米山梅吉翁生前の功績を讃え、後世に残る有益育成事業として、国際理解・親善・平和に寄与する為に、

草創期 米山記念基金設立

米山記念奨学会のあゆみ-1

- 1952昭和27年 東京ロータリークラブが奨学金制度を発表
- 1953昭和28年 米山基金の募金開始
- 1954昭和29年 初めての奨学生をタイから迎える
- 1957昭和32年 ロータリー米山奨学会委員会が発足
- 1958昭和33年 奨学委員会として初めて8名に奨学金供与
- 1959昭和34年 世話クラブ制度開始

米山記念奨学会のあゆみ-2

- 1967昭和42年 財団法人ロータリー米山奨学会を設立
- 1971昭和46年 カウンセラー制度がはじまる
- 1972昭和47年 米山功労者制度発足
- 1978昭和53年 特別寄附の免税措置
- 1983昭和58年 台湾米山学友会発足
- 2007平成19年 多地区合同奉仕活動の完了

多地区合同奉仕事業(プロジェクト)

国際奉仕活動の一環として、国際理解、親善を柱にして、世界平和の懸け橋

2024年度奨学生736名 2790地区 = 30名

奨学生の累計数 = 13カ国 24,133人

学友創立クラブ = 6RC (日本4RC・台湾2RC)

ロータリアン = 302人 ガバナー3人

※ 千葉西ロータリークラブ WEEKLY COMMUNICATIONは SNSやWebに掲載されます

奨学金

基本1年間提供 2年を超えない期間

学士課程 毎月10万円(年額120万円)

修士課程 毎月14万円(年額168万円)
博士課程

民間最大の国際奨学事業

第2790地区米山奨学生

2024年度受け入れ数 30名

- 中国 15名
- ベトナム6名
- 韓国 4名
- ナイジェリア 1名
- インド 1名
- インドネシア 1名
- モンゴル 1名
- フランス 1名

千葉県内指定大学 13校

- 東京大学 千葉大学
- 城西国際大学 東邦大学
- 流通経済大 麗澤大学
- 敬愛大学 千葉商科大学
- 千葉科学大学
- 東京理科大
- 千葉工業大学
- 中央学院大学
- 国際武道大学



千葉西RC受け入れ世話記録

- 総数27名
- マカオ 1名
 - 台湾 8名
 - 韓国 5名
 - マレーシア 1名
 - ザイール 1名
 - フィンランド 1名
 - ネパール 7名
 - モンゴル自治区 1名
 - ???自治区 1名

R米山記念奨学会 **学友の活躍**

- ・学友会 43団体 (日本33団体 海外10団体)
韓国・台湾・中国・タイ・ベトナム・マレーシア・モンゴル・スリランカ・マンニャー
- ・博士号の取得者数 24,133人(累計数)
中国1,598人 韓国1,357人 台湾647人 バングラデシュ96人 ベトナム51人
- ・Rクラブや衛星クラブでロータリアンとして活躍
- ・ロータリークラブ活動に参加
- ・学友会の世界大会開催
- ・奨学金寄附推進 (過去累計額 133,052,892円)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の運営

主な寄付金源

- ・34地区 2,195RC 83,363人のロータリアンからの寄附
- 普通寄附(クラブ単位)+特別寄附(会員単位)
- 世界中で活躍する米山記念学友からの寄附
- 一般からの寄附 等々...

奨学金寄付に対する表彰制度

- ・準米山功労賞 30,000円
- ・第1回米山功労賞 100,000円
- ・第2回目から9回目 米山功労者マルチプル
- ・第10回目 米山功労者メジャードナー

米山功労クラブ表彰制度
・米山功労クラブ 100万円ごと ・達成クラブ 1000万円ごと

2023-24年度資料
ロータリー米山記念奨学会 **寄附金収支状況**

普通寄附収入 410,403,000円
特別寄附収入 1,035,280,000円
寄付金合計額 1,445,683,000円

奨学金 1,257,770,000円
奨学生+学友関係費 51,162,000円
地区関係補助金 57,360,000円
世話クラブ関係補助金 52,395,000円
広報活動・募金推進費 16,997,000円
直接費合計額 1,435,684,000円

地区危機管理委員会 青少年や奨学生への安心 安全対策

無意識 ハラスメント・災害事故! 社会や環境の変化

課題 ↑



公益財団法人米山梅吉記念館 (静岡県駿東郡長泉町)



米山梅吉翁の金言

ロータリーは
自分を磨き成長させる
人生道場である

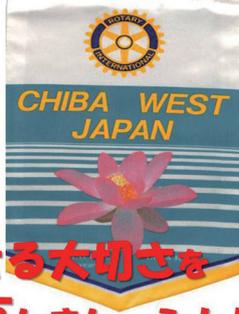
改めて見直そう！
我が千葉西ロータリークラブの
先達が築き上げてきた
青少年支援育成プログラム

我が千葉西RCメンバーが誇れる

公益信託 千葉西ロータリークラブ 青少年育英基金

1980年度から44年間継続奉仕活動中！！
市内27高等学校 219人 毎月1万円育英支援金
育英金累計額 2,628万円





千葉西ロータリークラブ
創立50周年記念事業
未来に伝承させる大切さを
会員皆で共有しましょう！！

ご清聴下さり
ありがとうございます
ございました。

千葉西ロータリークラブ
米山記念奨学委員会





ニコニコ BOX

- ・ 青少年育英運営委員会様
- ・ 海寶…時田 G エレクトご来会に感謝。米山記念奨学委員会へのご協力をお願い致します！
- ・ 花光…青少年育英委員の皆様、本日はありがとうございます。
- ・ 前野…本日は青少年育英運営委員会の皆様、時田ガバナーエレクトご来会ありがとうございます。
- ・ 桜井…時田ガバナーエレクトご来会ありがとうございます。
- ・ 小松…通い路のサザンカ思わず歌をハミング。忘れていませんでした。

12月プログラム

- ・ 3日 会長卓話(京成ホテルミラマーレ) **年次総会**
- ・ 10日 クラブフォーラム(京成ホテルミラマーレ) **(寄付金受付)**
- ・ 17日→21日(土) 忘年家族例会(みやぎき倶楽部)
- ・ 24日 休会
- ・ 31日 休会

1月プログラム

- ・ 7日 新年例会 点鐘 18:00 新春寄席(京成ホテルミラマーレ)
- ・ 14日 休会
- ・ 21日 創立記念例会(京成ホテルミラマーレ) **(寄付金受付)**
- ・ 28日 第33回インターアクト国外研修報告(京成ホテルミラマーレ)

千葉西ロータリークラブ	総数	出席	前々回の修正	メンバー	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	44名	34名		2名	82.93%		11,000円	
	対象者	欠席		欠席	前々回の出席率		本年度累計	
41名	7名	9名	78.05%	510,000円				

- 次週プログラム
- 12月3日(火) クラブ年次総会
 - 前野拓郎会長卓話「半期を振り返って」
 - 京成ホテルミラマーレ 点鐘12:30

クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】 莊司芳樹 【副委員長】 遠藤 平・藤崎泰裕 【委員】 依田和孝